



ニッコウキスゲ

とよね 議会だより

CONTENTS

- 一般会計当初予算 2
- 3月定例会 4
- 行政視察 10
- 議会活動報告 11
- 議会活動日記 12
- 6月定例会のお知らせ 12
- 編集後記 12

NO. **35**

TOYONE

令和6年6月1日発行

特徴的な事業

1「住まいの基盤づくり、定住促進対策」

村営住宅の整備（設計業務）、空き家活用支援補助金、奨学金返還支援補助金

2「子育て現役世代支援」

出産祝金・給付金の拡充

3「商工業の振興」

プレミアム商品券のプレミアム率のアップ

4「生活基盤の整備、防災・防犯対策」

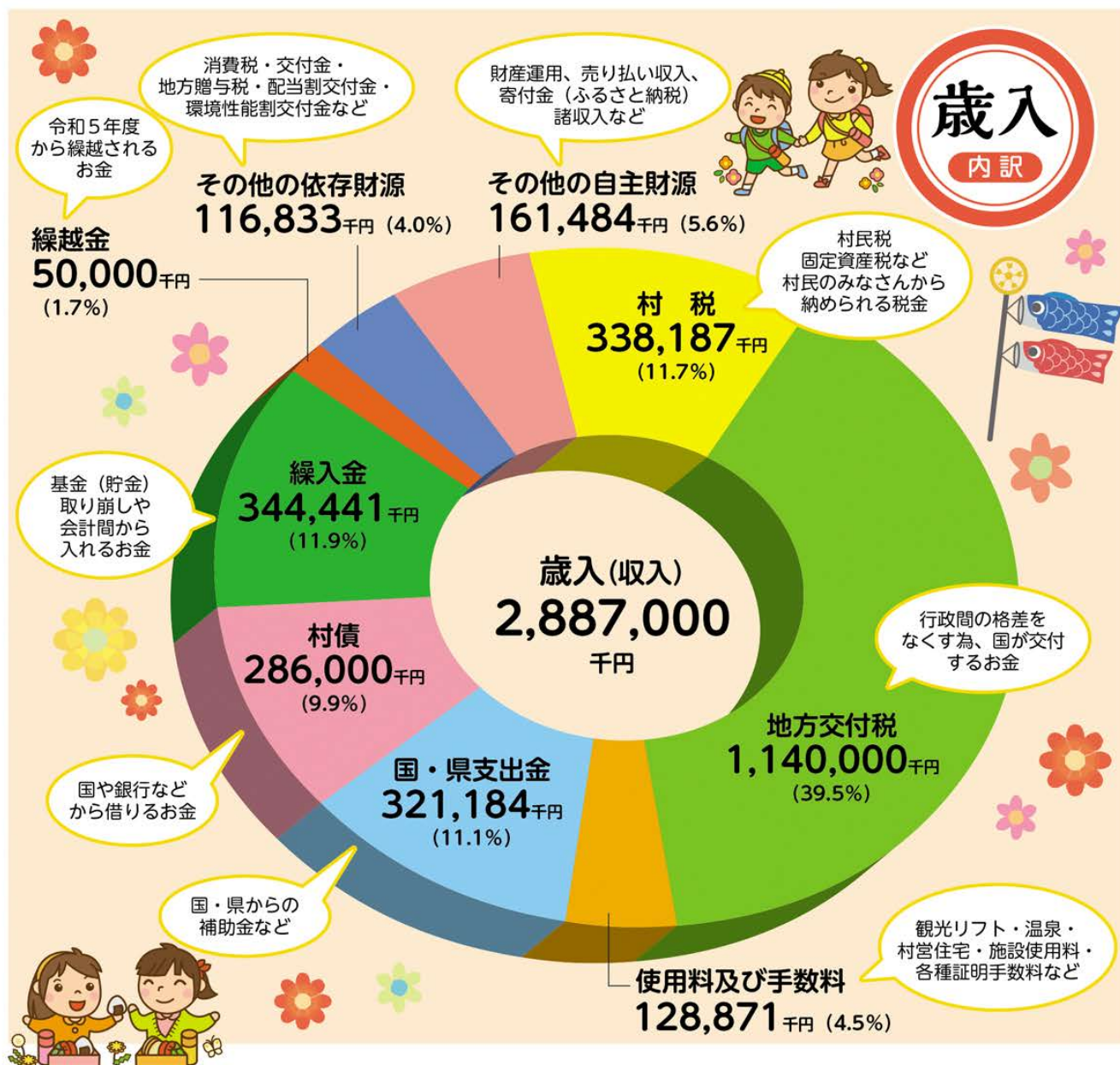
がんばらマイカー運営事業、消防団施設再整備事業（設計業務）、消防団装備等充実強化事業

● 公営企業会計 258,400千円

前年度比
3.0%減

● 合 計 3,435,100千円

前年度比
19.5%増



特別会計・公営企業会計の予算

単位：千円、%

会 区 分	特別会計 合 計	国民健康 保 険	坂 宇 場 財 産 区	村営バス	診 療 所	後期高齢 者 医 療
予 算 額	289,700	106,500	400	55,300	99,400	28,100
前年度比	3.2	△ 3.6	△ 55.6	1.3	10.7	12.4

公営企業会計	
会 区 分	簡易水道 事 業
予 算 額	258,400
前年度比	△ 3.0

令和6年度

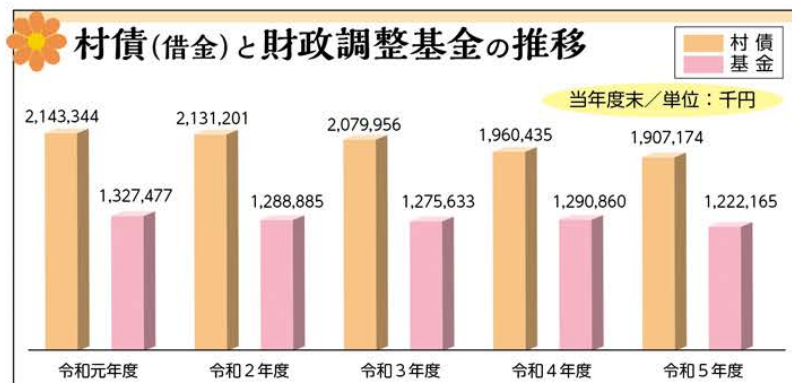
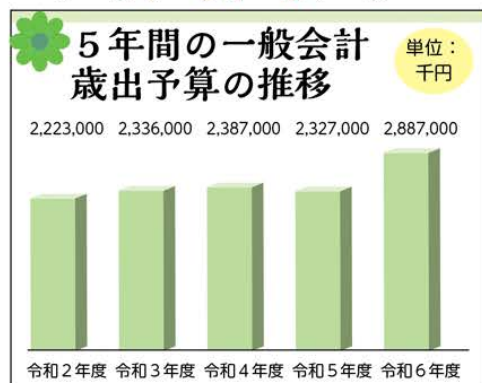
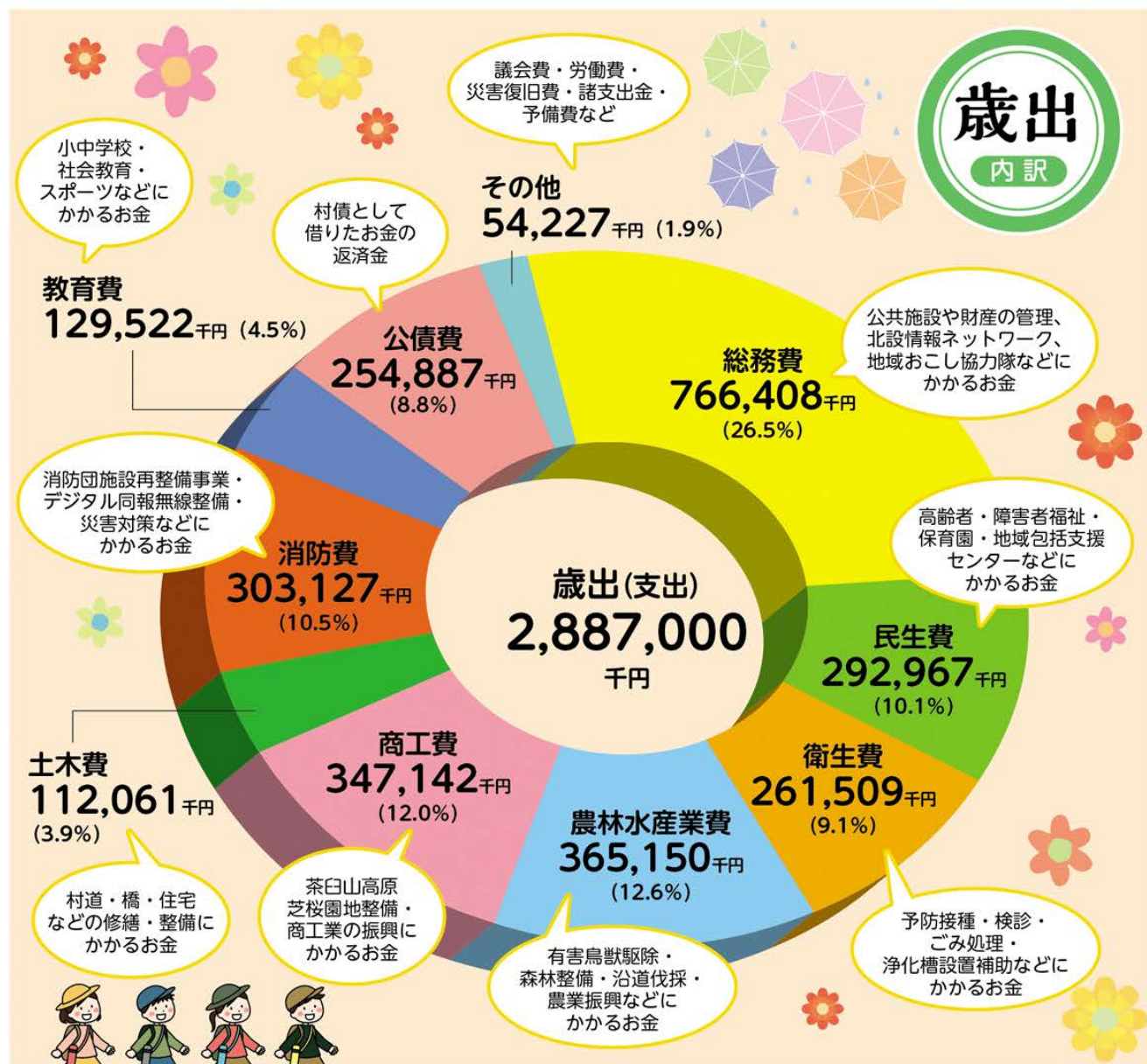
一般会計当初予算

● 一般会計 2,887,000千円

前年度比
24.1%増

● 特別会計 289,700千円

前年度比
3.2%増



3月定例会

● 議決・報告等
● 一般質問

令和6年第1回定例会が3月7日から15日までの9日間の会期で開かれました。

議事前には村長より

①例年行っていた「地域懇談会」を今回、「豊根村の未来を話そう」という名称で村の将来について懇談する会として実施したところ、5区で70余名の出席をいただき、村づくりの参考となる意見をいただきました。

②12月13日に茶臼山高原スキー場の開場式を行いました。が、暖冬と季節外れの雨により稼働できたのが1か月足らずとなり、スキー場のあり方を検討する時期が来ていると思っています。

③元日に発生した能登半島地震では、復興支援のため、村から職員を交代で派遣しています。

④1月2日には、豊根村成人式が行われ、4人の新成人を祝福しました。また、そ

の夜は愛知県副知事、県議会議員、県幹部職員の総勢20名が花祭りを見学され、豊根村を知っていただく良い機会になったと思っています。

⑤1月23日には、災害備蓄品を企業からの援助で配備して、町村相互で融通し合う仕組み「ガーディアン72」の調印を長野県境域9町村で行いました。

⑥1月30日から31日の一泊二日で議会に同行し、地元選出の国会議員訪問と山梨県小菅村に村づくり全般と温泉施設の運営に関する研修をしてきました。



新年度予算は、村民に元気が戻るような施策を念頭に、大型事業の準備段階として、住民生活に関わる予算を多く盛り込ませていただきました。



村長から提案された条例の制定等11件、令和6年度一般会計予算及び特別会計予算7件、令和5年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算3件、人事案件2件、その他2件、計25件を慎重に審議し、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

一般質問では、3名の議員が「豊に根ざす村への取組みについて」と「居住のための住宅整備について」と「温泉の将来像、スキー場の将来像、ふるさと納税の推進、教育委員会への対応について」など質問・提案を行いました。



3月定例会で決まったこと

条例の制定

■豊根村組織機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

(全員賛成)

7課を6課に再編

令和6年4月1日から施行

■豊根村行政手続きにおける押印見直しのための関係条例の整理に関する条例の制定

(全員賛成)

宣誓書、審査申出書への押印を廃止

令和6年4月1日から施行

■豊根村移住交流体験施設の設置及び管理に関する条例の制定

(全員賛成)

空の家(坂宇場字曾良)の設置及び管理に係る条例

令和6年4月1日から施行

条例の一部改正

■豊根村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関

する条例及び豊根村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

議案の撤回

■豊根村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

(全員賛成)

消防団員に係る報酬区分の追加と額の改定

令和6年4月1日から施行

■豊根村パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

(全員賛成)

勤勉手当を支給できるように改正

令和6年4月1日から施行

■豊根村フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正

(全員賛成)

勤勉手当を支給できるように改正

令和6年4月1日から施行

■豊根村職員の育児休業等に関する条例の一部改正

(全員賛成)

育児休業している会計年度

任用職員に勤勉手当を支給できるように改正

令和6年4月1日から施行

■豊根村職員の旅費に関する条例の一部改正

(全員賛成)

特別職の宿泊料の改定

令和6年4月1日から施行

条例の廃止

■北設楽郡地域情報化基盤整備事業に係る豊根村区域特別対策事業分担金徴収条例の廃止

(全員賛成)

事業が終了したため

公布の日から施行

■中山間地域活性化推進基金の設置及び管理に関する条例の廃止

(全員賛成)

事業が終了したため

公布の日から施行

人事案件

■豊根村固定資産評価審査委員会委員の選任について

(全員賛成)

田邊邦三氏(再任)

豊根村富山

任期は令和6年5月7日か

ら令和9年5月6日までの3年間

■副村長の選任について

(全員賛成)

・村松和重氏(新任)

豊根村上黒川

任期は令和6年4月1日から令和10年3月31日までの4年間

その他の議案

■辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

(全員賛成)

三沢・上黒川・坂宇場辺地における総合整備計画の変更による辺地対策事業債の変更

令和6年3月15日変更

■豊根村過疎地域持続的発展計画の変更

(全員賛成)

生活環境の整備として護岸改修事業を、子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進として保健センターの空調設備の更新を、医療の確保として診療所の改修をそれぞれ追加

令和6年3月15日変更

補正予算(専決処分)

(単位:千円)

会計名	補正額	総額	主な補正内容	
一般会計(第7号)	11,260	2,613,995	住民税非課税世帯に対する給付金	11,260 専決処分

補正予算(第一回定例会)

(単位:千円)

会計名	補正額	総額	主な補正内容	採決
一般会計(第8号)	△58,327	2,555,668	副村長給与 △8,834 地域おこし協力隊 △16,120 温泉電気料 △11,000 その他財源更生 △22,373	全員賛成
特別会計				
国民健康保険(第4号)	5,000	118,550	保険給付費の増額	全員賛成
診療所(第5号)	△2,350	99,493	医薬材料費の減額	全員賛成

繰越明許費

(単位:千円)

款	項	事業名	金額
②総務費	③戸籍住民基本台帳費	社会保障・税番号制度システム整備費補助事業	9,834
③民生費	①社会福祉費	物価高騰対策重点交付金事業	3,154
④衛生費	①保健衛生費	新型コロナワクチン接種事業	26
⑦商工費	②観光費	三沢高原キャンプ場整備工事	43,320
⑨消防費	①消防費	小型動力ポンプ付積載車購入事業	6,513
合 計			62,847

一般質問①



清川 長次
議員



一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

◆農産物等の加工施設について問う

Q 愛知東農協豊根農産加工施設の今後の運営について方針が伝えられているか？その際の村の考えは？

A 農林土木課長

農協管内の令和6年度重点施策として、他者への事業継承、又は加工の外部委託等の検討を含め今後の方向性について考えていくと聞いているが正式にはない。村としては農業振興、特産品魅力向上そして観光振興につながることから、農協での検討情報を収集しながら農協による運営継続を働きかけていく考えである。

Q ブルーベリージャム、ゆずジャム、トマトケチャップなどの村内材料持ち込みと製品販売量は？

A 農林土木課長

ブルーベリーは約2トンの果実が集まり、年間2708入り瓶を約7,500瓶、ゆずジャムはJA愛知東管内の材料から約6,000瓶、トマトケチャップは村特産トマトがある北設トマト部会の材料から約6,000瓶を販売。他に金山寺漬け、らっきよ漬け、餅等も製造している。

Q 施設設備の老朽化が進む中、農協から協議・検討を依頼されると想定するが村はどのように考えているか？

A 農林土木課長

耐用年数を大幅に超えている状況なので想定はしている。村としては施設継続を願っているのですが、どのような支援ができるかを考えていきたい。

Q 愛知東農協豊根茶工場の今後の運営について方針が伝えられているか？その際の村の考えは？

A 農林土木課長

高齢化や人口減少により、近年持ち込まれる茶葉の量が大幅に減少して施設の採算が大変厳しい状況であると聞いている。経費削減や価格改定にも限界があり、農協営農部内検討では令和6年度の利用状況によつては村外への製茶の業務委託も視野に考えていきたいと聞いている。村にとつては特産のお茶生産の拠点であるので農協による経営継続を事務レベルでお願いしている。農協での検討状況の情報収集をしながら運営が継続されるよう働きかけていく。

Q 茶葉の持ち込み件数と量は？

A 農林土木課長

令和5年度は84件、生葉4,917kgで村内約6割、他は東栄町と設楽町。近年の推移は件数30%減、生葉重量50%減である。

Q 高齢化、後継者不足等で放置茶園が増え、また、茶工場施設設備の老朽化が進むなど厳しいが村はどのように考えるか？

A 農林土木課長

農協による運営継続がされることを望んでいるが、施設設備が耐用年数を大幅に超えて老朽化が厳しい状況と聞いている。機器の更新期に継続に対してどのような支援ができるか財源確保しながら検討を進めたい。

Q 富山農林産物加工施設と富山緑茶加工施設の今後の維持管理の考えは？

A 農林土木課長

引き続き富山地区の特産品の生産活動の場として活用していく。施設設備更新等の検討時期が来れば施設指定管理者と関係部署等で協議して方向付けしていきたい。

Q 三沢活性化施設内の加工体験施設の今後の維持管理の考えは？

A 農林土木課長

指定管理者により善良な維持管理をし、特産品の生産、加工体験事業を行う場として活用していく。

Q 施設設備が老朽化し継続が厳しい状況になってきた時、地域振興の観点から今後どのように考えていくか村長の視点は？

A 村長

施設の老朽化は年々進み、担っている人も年を重ねる。後継者がしつかり引き継いでいただける体制で事業継続していく意思があれば施設老朽化に対し村として支援していきたい。

◆第3期創生総合戦略策定について問う

Q 第2期創生総合戦略が令和6年度で終了するが第3期の計画は？

A 地域振興課長

国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の動向を踏まえ策定を考えている。

Q 令和6年度中に事前調査、住民車座懇談、アンケート調査等住民の声を聞く機会を予定するか？

A 地域振興課長

計画策定目的では予定しないが昨年秋実施した「未来を話そう」など継続実施しながら検討委員と共に地域の方々の声を聞いていきたい。

Q 人口減少対策の出生率2.0、年間3家族転入の目標は厳しい現実がある。まず、村が主導的に村内男性、女性の出会いの機会を設定、実施しては？

A 地域振興課長

これまで婚活アドバイザーによる講義や県交流居住センターの協力での婚活事業を実施してきた。令和6年度は商工会で婚活イベントを計画されているので村として応援、協力など支援していきたい。

援、協力など支援していきたい。

◆県が進める「休み方改革」ラークエーションの日の導入取り組みについて問う

Q 2学期から導入されましたが小中学校の実績は？

A 教育課長

小学校5名、中学校3名が実施した。

Q 導入での課題と対策は？

A 教育課長

問題、課題は確認していない。学校教職員の負担増は？

A 教育課長

欠席時の学習フォローを学校としては行わないルールで運用されており学校現場から特に負担が増えたという報告は受けていない。

Q ラークエーション申し出の日と学級活動、学校行事、カリキュラムによる実験・実習や中間・期末テスト等との調整は？

A 教育課長

県教委が示す「ラークエーションの日実施の手引き」に、学校ができないう日を設定するとあり保護者に周知し理解をいただいている。

Q 令和6年度も導入予定か？

A 教育課長

実施予定で年度当初の4月保護者会で説明するリーフレットやチラシの準備をしている。

一般質問②



石田 吉孝
議員



一般質問の様子を動画
でご覧いただけます。

◆居住のための住宅整備について
問う

Q 村には村営・県営住宅・短期滞在棟・教員住宅・医師住宅等100棟前後があるが、各地区別の公営賃貸住宅の入居率は？

A 農林土木課長

村営住宅の入居率は全体では72%。地区別では、旧豊根村地区内は1棟が退去の予定で、残りは満室。旧富山村地区については27%。医師住宅、教員住宅は満室。短期滞在棟は2棟の空きがあり入居率は77%。県営住宅は満室となっている。

Q 旧富山村の漆島、久原住宅20戸の空室について今後どのような考えか？

A 農林土木課長

旧豊根村地区の住宅が満室に近いことから、問合せがあれば漆島、久原住宅を紹介、現地見学を行っている。引き続き住宅として利用を考えている。

Q 入居率の低い住宅の理由はあるか？

A 農林土木課長

雇用が限られること、就業場所への距離が遠いことが要因になっている。

Q 利用していても維持管理費が掛かるので、住宅以外の利用は考えられないか？

A 農林土木課長

老朽化の進んでいるものは用途廃止を計画的に進めたいが、村全体の住宅需要を鑑みて、現段階では住宅以外に使用を検討は行っていない状況である。

Q 総合戦略で毎年3家族の定住を目標とするところがあるが、利用したい場所に住宅の空きがない状態。移住促進に向けた住宅政策の認識はあるか？

A 地域振興課長

生活の拠点となる住宅政策については、移住促進への受け皿づくりとして、持続する村づくりへ向けての重要な施策として認識している。

Q 村づくりビジョンの中に3家族の受入について取り組む定住促進とあるが住居希望があった場合どの様に進めているか。受入のための検討委員会の状況は？

A 地域振興課長

移住相談窓口は地域振興課で対応し、入居希望の場合は事情に応じて村内の案内や村営住宅や空き家の紹介を行っている。定住促進委員会の実績は無いが総合戦略の委員会を立ち上げて協議を進めている。

Q 令和5年度から10年間の計画に空き家活用が示されている。具体的にはどのような計画か？

A 地域振興課長

今後増え続ける空き家について活用が大きな課題となっている。空き家登録制度に登録された物件の多くが、すぐに入居出来ないため活用が進んでいない状況なので総合戦略で具体的に検討していきたい。

Q 空き家が多いのは、この町村でも同じであり空き家バンクについては空き家がどれくらいあるかの調べでなく、空き家を耐震化、リフォームし、すぐに利用できる状態で貸し出す制度であり、また移住促進を図るため村の計画で今後どのような住宅整備が必要か？



A 地域振興課長

公営賃貸住宅108件整備されている。求人状況によって変わるが、現在、役場関係職員や協力隊など2割程度が公共賃貸住宅を利用している。具体的な整備件数についても総合戦略などの計画において年度ごとに目標を定めて計画していく。

Q 教員住宅について、補助金の耐用年数も経過しており利用者は一般の住民の方が利用している住宅整備の総合性を図るため、普通財産に移管し村営住宅とする考えはないか？

A 教育課長

教員住宅は上黒川字長沢に3棟あり村の管理住宅として窓口を1本化することは利用者側としては非常に分かりやすく効率的であるので関係課と連携して計画的な調整をしていく。

Q 村営住宅の管理の中で住宅の改修を定期的に行うとあるが、緊急修繕を行うのに予算不足で個人負担したところや非常に老朽化しているところや非常に湿気の多い住宅もあり、長年住んでもらい快適で住みよい生活環境をつくるためボーリング調査や排水溝施設など対策が必要か？

A 農林土木課長

6年度においては、津川ハイツA棟の改修工事を予定。小規模修繕については入居者の要望に伺い維持管理を行っている。また入居者からの要望を受けているA棟の屋根及び側面からの漏水対策やB棟の壁紙の張り替え対応を行う。

Q 今後の公営住宅建設について国も国産材を推奨しており村有林として100年生のヒノキ林が存在しているので活用を。

A 村長

コストの面で単価が少し上がることもあるが許容範囲内で居住者移住者が住みたくなるような魅力ある住宅建設を計画していく。

Q 短期滞在棟の入居は2年間のお試し期間となっているが、2年経過後も審査で一定の条件を満たせば3年以後も延長が認められることになっている。延長ができる条件とは？

A 地域振興課長

条件は
①地域内で交流を行うこと
②近隣住民と良好な関係を築いていること
③村長が認めること
また地元区長、組長さんの意見を求めている。

Q この住宅は国庫資金の入ったもので、あくまで豊根に住んでみてどのような生活ができるか住めるのかお試しの住宅である。審査の決定は課長、村長か？

A 地域振興課長

審査の判断は最終的には村長である。

Q 入居の継続は法令的なことであり議会側としては、契約に基づき要綱・規則がきちっと入居者との間に説明責任を果たすのが役目だと思いが考えは？

A 地域振興課長

短期滞在棟の実態は一般住宅化している現状にあるので今後、あり方も踏まえながら規則や施設を検討していきたいと考える。

Q 村の繁華街に建つ老朽化している空き家について、建物が壊れて危険な状況であると住民からの報告を受けている。防災上、早急に対処しなければならぬが対応は？

A 総務課長

特定空き家と判定するための判断基準を定める必要があり、「空き家等対策計画」及び「特定空き家等の判断基準」を定める必要がある。これを整備し関係法令等の規定に基づき対応していく。

Q 建物所有者不明で、特定空き家であることを踏まえて条例化し代執行に繋げていくには、どの程度の期間がかかるか？

A 地域振興課長

地域振興課で空き家対策計画を策定中であるので、令和6年度に空き家対策の協議会を立ち上げた後、代執行という流れになる予定。

一般質問③



田原長一郎
議員



一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

◆温泉の現状認識と今後の目標及びビジョン全般について

A 商工観光課長

「バルとよね」は令和4年度より村直営で温泉部門のみの営業を行っている。「湯の島温泉」はとみやまの里に指定管理を500万円程度で委託。

A 村長

来年度予算で、温泉立地可能性調査を計上しており、現状の場所でも継続することも含め、村内数カ所で調査し黒字になる場所があれば検討する。赤字であっても、村の財政の許容範囲内であれば、継続をしていくのも一つの方法と思うが、許容範囲を超える赤字であれば観光目的の温泉としては難しいと考える。

Q 観光行政にあつて温泉自体が本当に必要なと考えるか？

A 村長



近年利用者が減少しているが、温泉を有効活用したいという気持ちはある。温泉立地可能性調査を行う中でニーズ等を探り今後の方針を決める。

Q 運営母体については、どの様に考えているか？

A 村長

地域おこし協力隊の募集をかけ、2名応募がある状況。今後の運営については、希望を聞きながら、直営ではなく指定管理で任せたい。温泉は何年度から指定管理で委託するのか？

A 村長

確定的ではないが、地域おこし協力隊の任期である3年を待つて指定管理を考えたい。

◆スキー場の現状認識と今後の目標及びビジョン全般について

商工観光課長

ここ数年のリフト料金収入は2,150万円、1,690万円程度で推移している。今年度は暖冬となり2月19日を持って、今シーズンの営業を終了した。今年度のリフト収入は1,010万円ほどを見込み、600万円ほど昨年度より減収と予測する。

Q 茶臼山高原協会は設立から40年以上が過ぎ、時代にマッチしない部分も多く見られ、組織自体の劣化も感じる。また連年赤字になった場合、上部指導団体より解散指導が行われ、これを回避するため村が補填をした事実も承知している。今後、経営形態

を一般財団法人から他の法人へ変更する考えはあるか？

A 村長

一般財団法人の問題点も認識しており、一般社団や株式会社等も含め総合的に判断する。



Q 昭和61年12月に愛知県で唯一のスキー場として誕生し、以来、茶臼山高原の通年雇用を可能とした功績は十分にあったと考えるが、施設も老朽化し、更新には莫大な費用が必要となる。また、スキー人口の減少や地球温暖化の影響も相まって、人工降雪でのスキー場経営は難しい状況と考える。これらのことを鑑み、村の観光行政にスキー場は必要だと考えるのか？

A 村長

愛知県の唯一のスキー場であり、できればスキー場を継続していきたいと思っているが難しいようであれば次の手段を考えたい。

◆ふるさと納税の現状認識と今後の目標及びビジョン全般

地域振興課長

令和4年度の状況は、申込み件数が297件、寄附額は1,309万円程であり前年度と比較する

と2・2倍に伸びている。その要因は、キャビアを返礼品に追加したことであり、キャビアの寄附額が全体の66%を占める結果となっている。返礼品については、現在38種類となっている。

Q キャビア生産は、村で三大珍味を造ることをコンセプトに始めたものであり、10年余りを掛けて、熊谷氏の尽力により生産体制が整いつつある。しかしながら販売経路や売り先の開拓については問題もあると聞いている。今後どの様に推進していくのか？

A 地域振興課長

村の地場特産品補助の支援策を活用し、生産者に対し積極的な働き掛けを行い、返礼品の追加に努めていきたい。

Q キャビア以外の珍味の生産についても早期に計画を示して、村民に働き掛けを望むものであるが今後推進の有無は？

A 村長



トリュフは人工育成が成功したというニュースが新聞に載ったことから豊根村でも出来るものと考え。フォアグラについては、鳥類の肝臓に拘らず、魚類の肝臓を使ったりして、三大珍味をワンセットとして、売り出していくことは話題性もあるので出来る物から取り組んでいきたい。

◆令和5年豊根村議会第2回例会で一般質問した件のその後の対応について

Q 教育支援委員会は、いつ開催されるその結果はどの様になったか？

A 教育課長

令和5年11月28日に、教育支援委員会を開催し特別支援教室を2クラス設けるという結果となった。このことを愛知県に報告し、教職員の人事が進んでいると認識している。

Q 教育長はクラスが増えるようであれば、有能な先生を回してくれるよう声を大にして愛知県に要望申し上げると答弁されたが、有能な先生を回していただけるよう依頼をされたか？

A 教育長

2つの支援学級をつくりたいと申し上げ、担任の先生をお願いしている。

Q 名古屋市教育委員会の不祥事に関連する質問として問うが、管内に校長会または関係教員団体の存在を認識しているか？

A 教育長

管内には、豊根村の校長会と郡の校長会という団体がある。また愛知教育大学同窓会と言われる組織もあり、併せて年度ごとの同窓会もあると認識している。更に愛知教育大学以外の先生方からなる教友会という団体もある。



予算特別委員会

令和6年第1回定例会において、議会の議決により、予算特別委員会が設置され、委員長に金指春男議員と副委員長に田原長一郎議員を選任し、全議員で予算特別委員会を構成して3月8日、11日、12日の3日間、慎重に審査しました。審査にあたって、予算概要について各担当課長から説明を受けた後、委員の質疑応答が行われ、すべての部署の審査終了後に細部にわたり再度審査を行い、いずれの会計においても適正な予算であることを全会一致で可決され、議会最終日（15日）に委員長が報告をしました。



委員長報告

令和6年第1回定例会において、予算特別委員会に付託となりました。議案第13号「令和6年度豊根村一般会計予算について」から、議案第19号「令和6年度豊根村簡易水道事業会計予算について」までの7議案について、委員会審査の結果と経過をご報告いたします。

▼本委員会は、3月8日、11日、12日に開催し審査が行われました。審査に当たっては、予算の概要について各担当課長から説明を受けた後、委員の質疑が行われ、すべての部署の審査終了後に細部審査を行ったところであり、最初の結果を、その後、審査の過程において付された意見について申し上げます。

▼令和6年度予算については、より一層財政状況が厳しくなる中、村長はじめ各担当課長が努力され、プライマリーバランスの黒字化を目指し、「事務事業の改革」「組織の見直し」に取り組み、苦労してまとめ上げた事が感じとれる予算編成となっており、いずれの会計においても適正な予算であることが全会一致で可決されました。

審査において付された意見は次のとおりです。

▼初めに、新村長のマニフェストを盛り込んだ予算が示されていると思いますが、単なる事業継続でなく、様々な事業を評価・検証し、10年20年先を見て、採算性の追求・事業の見直しを積極的に進められることを要望します。

▼次に木サイクルセンター、温泉施設、富山支所の今後の運営について、一般住民の声も交え、雇用も含め、様々な角度から見た活用を検討を要望します。

▼次に、ふるさと納税などの自主財源確保と、補助金などの制度活用を積極的に進め、防災、インフラ整備が引き続き実施され、大規模災害がいつ起きても住民が安全で安心な日々の生活ができるよう、住民と行政が一体となつての対策推進を要望します。

▼次に、職員間での連携を一層強化し、議会からの一般質問への答弁結果を早期に実施していただくよう要望します。

▼最後に、物価高騰が続いており、また、住民目線に立ち村民が少しでも豊かになるような事業立案と実施を要望します。

以上、予算特別委員会の報告を

予算特別委員会 質疑（抜粋）

（総務課）

消防団施設の今後の更新計画は？

令和6年度に下黒川区の石堂消防団の移転にかかる設計費を計上。その後、7年度に上黒川区、8年度に三沢区と順次更新していく。

能登半島地震のような大震災への準備状況は？

防災備蓄品は各防災倉庫に完備し、随時更新を行っている。また、長野県境域町村と災害時における物資（G72BOX）の受入保管等に関する協定を締結した。

議会費の映像設備の内容は？

議場天井にカメラ2台を設置し、音響設備を更新するもの。録画した動画はインターネットを通じて広く配信していく。

（税務課）

固定資産税は減少傾向にあるが、地籍調査に山林を含めて行う予定は？

課と調整し、調査範囲等を検討していきたい。

治山事業を行う山林は保安林指定となるが、課税に反映させているか？

法務局からの登記済通知書と愛知県からの保安林指定の通知により非課税としている。

（商工観光課）

温泉事業に関して、今後の方針は？

令和6年度に民間コンサルティング会社にて調査を委託。調査結果を踏まえコンサルティング会社、関係者を交えた会議の中で方向性を示していきたい。

温泉が赤字運営という状況下、村民の入浴料を無料にするという考えはあるか？

村が運営主体であるため、無料化は可能。今後検討していきたい。

（農林土木課）

木サイクルセンターに関して、今後の方針は？

実質赤字経営が続いていることから、令和6年度より3年間を目処に村が運営主体となり、森林組合から製造や販売等の支援を受ける形で事業を継続する。

（生活課）

豊根村の水道料金は他市町村と比べて高いか？

東三河と比較すると、中位の料金。

ペットボトル収集ボックスの設置予定箇所数は？

令和6年度に4箇所増設し、計8箇所とする予定。

（教育委員会）

中学生の海外研修の内容は？

担当はこれまでと同程度とする。

志高寮の活用状況は？

学習塾やキャリア教育の場として活用している。今後は、スマートフォンやパソコンを用いたオンラインの学習支援に力を入れていきたい。

（地域振興課）

がんばらマイカーへの支援策は？

人件費や事務費といった金銭的な援助を継続。運転手不足に対する人的な支援は今後も検討していく。

地域おこし協力隊の活動は？

令和5年度をもって1名が任期満了。アルバイト等もしながら引き続き村で生活していく予定。令和6年度は温泉レストランの再開に向けて2名の隊員が、5月頃から活動を開始する予定。隊員の活動に要する費用は特別交付税で賄う。

（住民課）

緊急通報サービス登録件数は？

20件。登録者には利用料として月700円を負担していただいている。

給食サービスの内容と利用者の反応は？

月1回給食を配送。配食料として1件300円を実施団体へ支給。利用者からは回数を増やしてほしいとの要望が寄せられている。

診療所が長期休診時の対応は？

へき地医療支援機構へ医師の派遣を依頼する。



議会行政視察

1月30日 衆議院会館・参議院会館・憲政記念館
地元選出国會議員7名を議員会館にて表敬訪問した。続いて
憲政記念館で国会の組織、運営について説明を聞いた。

1月31日 山梨県小菅村

2日目は小菅村を視察した。小菅村は山梨県の県境の山間の
小さな村であるが、その村づくりは全国的に有名である。古
民家ホテル、ドローン配送、タイニーハウス等全国からの視
察が昨年24組も訪れている。全国源流の郷協議会の事務局を
持っており、「多摩源流の郷」でもある。当日、観光施設が集
約された道の駅で、船木直美村長から直接村づくりの話を集
めていただいた。

小菅村と豊根村

	小 菅 村	豊 根 村	備 考
キャッチフレーズ	源流の郷	愛知のてっぺん	
人 口	634人	959人	令和6年3月1日現在
世 帯	334世帯	462世帯	令和6年3月1日現在
面 積	52.78km ²	155.88km ²	
標 高	530m~2,000m	148m~1,415m	
ア ク セ ス	大月インター から40分	鳳来峡インター から40分	
特 産 品	クラフトビール わさび 淡水魚 そば 等	高原野菜 ブルーベリー キャビア 金山寺 等	
販売農家数	4戸	23戸	4年度統計情報
自給的農家数	48戸	68戸	4年度統計情報
一般会計予算	17億4,200万円	23億2,700万円	5年度当初予算
議 員 数	8人	8人	

視察後の意見・感想

村 長自ら説明、案内をされ
た。豊根村とは違う1カ
所集約の効率の良い施設配置、
集客方法を聞いた。

外部経営のクラフトビール
製造会社は、地元産の商品を
活用し、ふるさと納税では
一番の売り上げをあげていた。
また、温泉の燃料は地元産の
木材を使用し、燃料高騰の時
期と重なり、非常に助かった
様だ。

現状維持は衰退の元と言わ
れており、新たな方向で我々
も村民含めて考えて行かな
ければならないと痛感した。

村 長のお話から、非常に物
事をプラス思考で考える
方だと感じた。また、2票差
で当選したこともあり、地域
の発展のため積極的に施策を
打ち出しており、やはり選挙
をする事が非常に重要である
と感じた。

現在の豊根村は存続の危機
を迎え、待ったなしの状態だ
があるが、一刻も早く即効性
のある施策を打ち出す事が急務
だと考える。

豊 根村と良く似ているが、
村全体に平野が少ないた
め、コンパクトにまとまっ
ている。診療所の職員4名、役
場の職員は4課24人の計28人
であり、この点は豊根村と大

きく違っていた。

村の目玉とする観光施設の
道の駅、小菅の湯、アドベン
チャー施設、物産館、レスト
ラン等が1カ所にまとめてあ
り、全てが外貨獲得にむけ無
駄な支出がなく、効率の良い
施設である。

村 への地域おこし協力隊員
は総数45人になるが半数
近くが村に定着していること。
村は募集する時、村内
の諸団体等の要望を聞いて若
い人が希望する所で働けるよ
う工夫していた。

東京から本社移転したクラ
フトビール会社や古民家活用
ホテルニッポンニア小菅、
村の材木利用の小さな宿泊施
設「タイニーハウス」の設計
建築など、村外からの応援者
が村の可能性を引き出してい
ることを感じた。

温 泉施設、道の駅等を1カ
所にまとめてあることは、
集客力を上げる良いところ
と思う。

平日にも温泉客が有り、温
泉施設と食堂は集客には必要
なものであることを実感した。
キャンプ場は村内に数カ所
設置しており、本村でも村内
各所に設置が可能であると考
えられる。

当村にも、地ビールの開発
を考察している方もいるので、
村でも拾い上げて、協力隊の
募集に繋げてはどうか。

山 間の谷間の村で本村と同
じ環境であり、当然の様
に人口減少が厳しいとの事。

観光が主力、特に温泉・道
の駅・特産品販売所・公園を
村営企業が運営し約40名の従
業員を雇用。使命を充分果た
しており存在感が大きい。地
域おこし協力隊員を有効に活
用しこの施設等で活躍。

村の子どものふるさと教育、
婚活事業等も実施。トップに
立つ者が逆行に負けない強い
意志が伝わった。本村行政・
議会もその姿勢は必要である。

道 の駅に村の設置した「小
菅村ジビエ解体処理施
設」を、会社が経営しており、
捕獲、解体し、自社のレスト
ランで飲食としても提供して
いた。道の駅の運営会社では
地域限定旅行の許可を取り、
「狩猟体験ツアー」も行い、
今季3回も満員であったそう
だ。

豊根村においても、猟師の
確保とあわせ、シカ、イノシ
シの村内消費等の有効活用も
考えていかなければならない
と感じた。



／ご報告します！／
議会活動



● 豊根村成人式 1/2



● 議会勉強会 1/23



● 丹羽医師との意見交換会 1/23



● 新城市北設楽郡市町村議会
正副議長会 1/26



● 県境域開発協議会議員研修会 2/26



● 豊根村消防団観閲式 3/3



● 豊根中学校卒業式 3/6



● 豊根小学校卒業式 3/19



● 設楽警察富山駐在所開所式 3/25

1月

- 2日 豊根村成人式
- 9日 東三河8市町村長を囲む新春懇談会〈豊橋市〉
- 16日 議会だより編集委員会
JA愛知東 新春農政懇談会〈新城市〉
- 18日 東三河広域連合議会福祉委員会〈豊橋市〉
- 19日 東三河広域連合議会全員協議会〈豊橋市〉
- 22日 例月出納検査
- 23日 議会勉強会
丹羽医師との意見交換会
全員協議会
- 25日 愛知県後期高齢者医療広域連合議会議案説明会〈名古屋市〉
- 26日 新城・北設楽郡町村議会正副議長会〈設楽町〉
- 29日 北設広域事務組合例月出納検査〈設楽町〉
- 30・31日 行政視察・研修〈東京都・山梨県〉

3月

- 3日 豊根村消防団観閲式
- 6日 豊根中学校卒業式
- 7日 令和6年第1回定例会〈初日・一般質問〉
- 8日 予算特別委員会
- 11日 予算特別委員会
- 12日 予算特別委員会
- 15日 令和6年第1回定例会〈最終日〉
議会だより編集委員会
- 19日 豊根小学校卒業式
- 21日 例月出納検査
- 25日 設楽警察署富山駐在所開所式
- 28日 (一財)茶臼山高原協会理事会
新城北設楽交通災害共済組合定例会〈新城市〉

議員活動 日記

TOYONE 2024

2月

- 6日 愛知県後期高齢者医療広域連合議会定例会〈名古屋市〉
- 7日 東三河広域連合議会定例会〈豊橋市〉
- 8日 東三河広域連合議会定例会〈豊橋市〉
- 15日 奥三河ビジョンフォーラム新春懇談会〈新城市〉
- 18日 令和6年能登半島地震災害派遣慰労会〈豊橋市〉
- 20日 例月出納検査
- 21日 全員協議会
- 24日 豊川市制施行80周年記念式典〈豊川市〉
- 26日 県境域開発協議会議員研修会〈阿南町〉
- 27日 郡定例正副議長会事務局合同会議〈設楽町〉
北設広域事務組合定例会〈設楽町〉
- 29日 議会運営委員会

編集後記

新年早々から悲しいニュースが入ってきた年です。
毎年予想を超えた災害が発生しています。豊根村でも、豪雨による災害が懸念されます。
情報を早く収集し、各自が自分を守り又、お互いが協力し合い、災害から村、そして地区の安全を守って行きたいと思っています。
皆様のご協力と情報の提供をお願いします。

豊根村議会
6月定例会のお知らせ
6月定例会は
6月7日(金)から14日(金)
までの会期で
開催予定です。
なお、一般質問は
7日(金)に行います。

※日程は変更となる場合もあります。
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

とよね議会だよりに関する
ご意見・ご要望をお聞かせください！



発行 議長 石田 文彦 広報 委員長 村松 英文 委員 金指 春男・田原 長一郎・坂口 和男